

【桜川市】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

学習指導要領及び中央教育審議会答申「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（令和3年1月）等を踏まえ、本市では目指す学びの姿「新しい時代に必要となる資質・能力の育成」を掲げ、1人1台端末・授業支援プラットフォームを活用することで、学習のねらいに応じたICTの効果的な活用の促進に取り組んできた。一人一人の学びに合わせた個別最適な学びと課題解決に向けた協働的な学びを往還させながら「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指すとともに、子供たちが課題解決に最適なツールを主体的に選ぶ力を身に付けさせたい。

2. GIGA第1期の総括

本市では、国のGIGAスクール構想を踏まえて令和2年度に1人1台端末、高速大容量のネットワークの整備を進め、端末の持ち帰り学習、視覚的な学習のための画像・動画の活用やグループ学習による意見共有などICT環境を活用した学習に取り組んできた。

また、令和3年度からは、教育用ICT機器の利活用と教職員のICT能力向上を図るため、ICT支援員を各小中義務教育学校に配置し、積極的なICT教育の環境整備を進めてきた一方で、教職員のICTを活用した指導する能力については、学校内又は学校間での格差がある。このような課題を踏まえ、本市では各校に校内ICT推進教師を設置し、校内ICT推進教師研修会を開催することで、学校間での情報交換や課題の検討に取り組んできた。今後、より一層1人1台端末の利活用を進めていくには端末、通信ネットワークや周辺環境等の整備に加え、教職員のICTを活用した指導力の向上が求められると考えている。

3. 1人1台端末の利活用方策

本市では、これまでに導入してきた電子教科書や授業支援プラットフォーム、ドリルソフトの活用により特別支援教育、不登校児童生徒や外国人児童生徒など誰一人取り残すことのない教育機会の確保に取り組んできた。

さらに、現代社会において子供たちが安全かつ適切に情報を利用し社会に参画するために、情報モラルスキル教育の推進と、タイピングスキルの向上を目指し、取り組んできたことも、引き続き継続していく。

また、校内ICT推進教師研修会やICT支援員による研修会を行うことで、教職員の意識の向上やスキルアップを図り、学校間での格差の解消に取り組み、引き続き端末や通信環境の整備を行い、1人1台端末環境を維持することで更なる個別最適・協同的な学びの環境作りに取り組む。